



milk

知識情報・図書館学類誌

No.23
December
2023

PBL 図書館サービスプログラム開発 受講レポート
参考図書の世界
博物館セミナーに参加しました！
宮沢賢治と〇〇
MILK 通信
小田城跡のいいところ概説

milk

知識情報・図書館学類誌

MILK 編集部員募集中！

知識情報・図書館学類生であれば誰でも歓迎します。
私たちと一緒に学類誌「MILK」を作ってみませんか？
ミーティングは毎週1回
興味がある方はぜひ Twitter の DM まで！

HP:<https://milk.klis.tsukuba.ac.jp/>
Twitter:@KLISMILK

表紙：大橋 撮影：岸岡



授業スケジュール

- 6月 事前説明会・受講者募集
↓
7月 受講者決定
↓
8月 講義(全3回)
ーWBSについて
ー認知症と図書館
ー認知症について
(作業療法士と認知症当事者による講義)
グループワーク
ー企画書作成
ー展示準備
9月 講義(全1回)
ー図書館サービスについて
(つくば市立中央図書館館長講義)
↓
13日 - 29日 企画展実施
↓
11月 最終成果報告会

認知症と図書館。
一見かわりがない両者に見えますが、実はとても親和性の高い組み合わせなのです。本稿が、認知症に関する新たな知見の獲得と、来年度の受講の参考になれば幸いです。
(担当：田中)

象の実践型授業、『PBL型図書館サービスプログラム開発』を今夏に受講させていただきました。PBLとは課題解決型(Project Based Learning)の略で、図書館サービスについて実践形式で学習する授業です。
今年度は「認知症と図書館」をテーマにつくば市立中央図書館にて企画展を実施しました。本稿では受講レポートと題し、本授業の紹介と成果報告をさせていただきます。

PBL型図書館サービスプログラム開発 (GE82802)
2.0単位, 3・4年次, 応談
呑海 沙織, 松村 敦, 武田 将季

キーワード: PBL, 図書館サービス, 高齢者サービス, 認知症支援
学習・獲得スキル: 課題解決能力, プロジェクトマネジメント能力
授業形態: グループワーク
授業期間: 応談 (本年度は8月～11月まで実施)

※2023年度の情報です。
年度・受講者数によって変更の可能性があります。

知識情報・図書館学類誌 MILK とは？

M Management
I Information
L Library
K Knowledge

2007 年の創刊以来、学類生ならではの目線で学類生に有益な情報を
年 2 回 (7 月・12 月) お届けしています。

CONTENTS

PBL 型図書館サービス プログラム開発 受講レポート	02
参考図書の世界	05
博物館セミナーに参加しました	07
宮沢賢治と〇〇	09
MILK 通信	11
小田城跡のいいところ概説	13
編集後記	14

授業進行 その1 プロジェクト進行に向けた基礎固め

講義では、企画立案・進行方法について学習し、認知症に関する知見を深めます。

○WBSとプロジェクトマネジメント

企画立案にあたり必要になるものがプロジェクトマネジメントです。スケジュール、コスト、ステークホルダー、リスクといった要件を洗い出し、プロジェクトマネジメント計画書を作成します。

立案後、企画の実現に向けスコープ（要件の範囲）を整理します。このとき、要件を最小限まで分割したものをWBS (Work Breakdown Structure) とし、WBSを定めることでプロジェクト達成に必要なすべての要素を把握しやすくなります。

○認知症と図書館

世界でも有数の超高齢社会である日本は、高齢によって進行しやすい認知症と向き合う社会のモデルケースになります。また医学の進歩により認知症は解明されつつありますが、その要因と症状が多岐に渡るために、認知症の社会的理解の促進には多くの課題があります。全ての市民に開かれた公共図書館は認知症の人や家族を支援するポテンシャルを持ち、かつ情報拠点として認知症の正しい知識を社会に発信できる、認知症と親和性の高い公共施設です。

○認知症の正しい知識と課題

認知症とは、記憶力や判断力などの認知機能が低下した状態をさします。アルツハイマー型や血管性認知症をはじめ、要因は多岐に渡り、かつ症状や度合も人によって異なるため、一人ひとりにへの細やかな支援が必要不可欠です。

認知症は前段階であるMCIから進行し、早期受診と訓練によって進行を鈍化させることが可能です。また認知症に関するトラブルは、記憶障害や見当識障害等の中枢症状ではなく、環境要因や心理要因との相互作用によって誘引されるBPSDによるものがほとんどです。

コラム アンコンシャス・バイアスとマイクロアグレッション

アンコンシャス・バイアスとは、「無意識の思い込み」「偏見」を指す言葉です。

マイクロアグレッションとは、「意図しない小さな攻撃性」を指す言葉です。

かつて認知症がまだ社会的に認知されていなかった時代、Dementiaに当たる用語として「痴呆」が使用されていました。平成16年を期に、正式に「認知症」という言葉が成立しましたが、「痴呆」という表現から当事者の尊厳が傷つけられてきたとともに、その言葉のイメージによって症状を周りに隠す、認知症の人を家に閉じ込めるといった否定的な行動がとられ、認知症の早期発見も妨げられてきました。

BPSDは不安といった心理要因によっても誘引されます。マイクロアグレッションを意識し、当人の尊厳を傷つけないよう配慮することで、BPSDの症状を緩和することもできます。

図書館には、このような無意識の偏見を是正し、新たな知識へのアップデートを促す使命も担っているのです。

授業進行 その2 グループワークとプロジェクト着手

講義と並行して、展示企画の実施に向けたグループワークも進めていきます。今年度は受講生六人をグループとして、『Let's Recognize Dementia』認知症を認知しよう！』をテーマに認知症入門者向けの展示を企画しました。

企画はプロジェクト・スコープ記述書から作成された進行計画を元に進めます。今回は情報・成果物共有用にMicrosoft Teamsを、タスク管理用にAsanaを利用しました。

今年度の企画は部門を六つに分け、部門ごとに展示を作成しました。

○触れる・学ぶエリア

認知症関連書籍の展示に向け、つくば市立中央図書館の蔵書リストと書架を元に、よりテーマに合った展示になるよう類型化を実施。

○体感エリア

ユニモを用いて、認知症の人の視点を体感できる視覚メディアを制作。

○相談・交流エリア

つくば市地域包括支援センター協力の元、支援施設とオレンジカフェの紹介ポスターを制作。

○つながるボード

展示閲覧者が自由に意見を書き込めるボードを設置。

○ポスター・ビラ

企画周知と展示補助のためのポスター・ビラを制作。

これらの企画展示は9月13日から29日までつくば市立中央図書館にて展示されました。また最終日には、認知症当事者の方と地域包括支援センターの職員の方々をお招きして、館内でオレンジカフェが開催されました。

授業進行 その3 いざ、企画展実施！

認知症に触れる・認知症を学ぶ

認知症の導入を補佐するエッセイ、小説、児童書といった書籍を「触れる」ための本として整理。認知症全般について解説された「基本書籍」に加え、より専門的な本は「MCI」「原因疾患」「BPSD」「地域支援」の四部門に細分化し「学ぶ」ための本として整理。合計90冊越えの書籍を一部貸出禁として展示し、見栄えと利便性を両立した展示となりました。



▲認知症が多様多様であれば書籍も……とはいかず。大半が「基本書籍」でしたが、専門医、当事者にルポライターと著者は多様です。

オレンジカフェ開催

オレンジカフェ（認知症カフェ）は、誰でも参加可能な認知症の方のための交流の場です。名称には認知症支援のテーマカラーであるオレンジに、“集う場所”のカフェを充てられています。普段はレクリエーション等も用意されていますが、今回は座談会ということで趣味や介護の最新技術について、楽しくお話しさせていただきました。

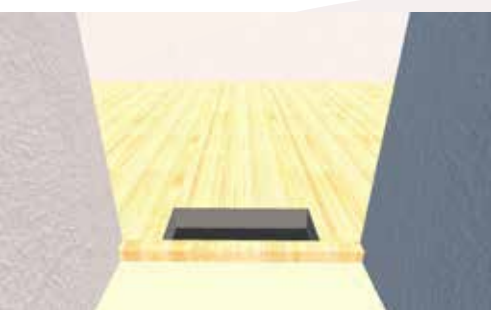
オレンジカフェはつくば市でも毎月様々な施設で開催されています。



▲認知症当事者の吉村さんをはじめ、大人数で実施。参加すれば認知症の印象がガラッと変わるはず。

認知症を体感する

認知症によって引き起こされるBPSD（周辺症状）には、徘徊や多動といった行動に表れるものから、幻覚やうつといった精神的なものまで様々です。左図の例は「玄関に落とし穴がある」ように見える幻覚のケースを表しています。これは玄関に敷かれた黒いマットが認知できないことによって落とし穴と誤認しています。このような環境要因を把握し取り除くことも、認知症の人が過ごしやすい空間をつくる第一歩です。



▲玄関の黒いマットが、落とし穴に見えてしまう。壁の模様によって人間の幻覚を見ることも。

PBL型図書館サービスプログラム開発に参加し、プロジェクト進行の難しさと利用者へ情報を発信する大切さを身をもって体感しました。そして、認知症という概念を通して、開かれた場としての図書館、知識情報基盤としての図書館の重要性を再認識することができました。図書館の役割を実践的に学べる貴重な機会ですので、気になった方は是非、来年度に受講してみてください。最後に、本企画に協力してくださったカフェロマンの吉村さん、作業療法士の前田先生、つくば市立中央図書館の柴原館長ならびに図書館員の方々、つくば市地域包括支援課の方々、そして呑海先生、武田先生、松村先生、どうもありがとうございました。

参考文献

- ・内閣府.令和4年度版高齢社会白書.内閣府HP.
https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2022/zenbun/04pdf_index.html (2023-12-18閲覧)
- ・呑海沙織.認知症にやさしいガイドライン.超高齢社会と図書館研究会, 2017.
- ・茨城県. 認知症の理解. 茨城県HP.
<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/chiiki/ninchi/ninchishou.html> (2023-12-18閲覧)
- ・つくば市. つくば市オレンジカフェ（認知症カフェ）. つくば市HP.
<https://www.city.tsukuba.lg.jp/soshikikarasagasu/fukushibu-chiikihokatsushienka/gyomuunnai/2/1/1001345.html> (2023-12-18閲覧)



参考図書の世界

担当：小松

今回は、参考図書について紹介する。調べ物をする際に役立つだけでなく、学生にとってはレファレンスの際に用いる資料としてもお馴染みだろう。

参考図書について、国立国会図書館のリサーチ・ナビでは次のように説明されている。

「参考図書」とは、最初から最後まで通読するのではなく、何かを調べるために、必要に応じて必要な項目だけを参照するために使う資料のことです。例えば、百科事典、辞書・辞典類、便覧、年鑑、辞図、資料集、書誌、索引、抄録等です。

つまり、調べるための資料だ。参考図書の種類や使い方について、詳しくは「知識情報演習Ⅱ」の授業で学ぼう。筑波大学図書館情報学図書館には、授業課題やレファレンスに役立つような参考図書が多く所蔵されている。一階の閲覧室には、日本十進分類法における0類と電気工学に関する参考図書が、一般図書と一緒に配架されている。二階には、それ以外の分野の参考図書がまとまって配架されている。二階の参考書架を眺めると、普段あまり触れることのないジャンルを扱う

たものが散見され、興味深い。各分野の参考図書がかなり専門的な内容まで充実しているのは、大学図書館ならではの感じがする。参考図書には、各分野についての知識が詰め込まれている。パラパラと眺めるだけで、その分野の奥深さに圧倒されるだろう。また、知っている事物についても、専門的な観点で説明されたものを読むと印象が違って見える。通読するためのものではないが、興味のある分野については通読してみると新たな発見や学びがあって面白いかもしれない。

私たちにとって、調べものにはインターネットで検索することが当たり前になってしまった。しかし、それでは解決できなかったとき、または自身の知的欲求を満たしたいとき、参考図書をのぞいてみてはいかがだろうか。そこにはあなたをワクワクさせるような、新しい世界が広がっている……かもしれない。



図情図書館の参考書架で見つけた 気になる参考図書

筆者が独断と偏見で選んだ四冊を紹介する。
あなたにも刺さる一冊があるかも。



『世界ことわざ辞典』

北村孝一編 東京堂出版、1987
(請求記号 159.8-K168)

世界のことわざを主題や状況別に収録した辞典。意味や用法だけでなく、背景の解説まで付いていて分かりやすい。同じ意味でも言い回しが違ったり、真逆の意味があったり、読み物としても面白い一冊。

『クロスワード辞典』

ニコリ編 波書房、1991
(請求記号 807.9-N73)

文字数と、間の文字の五十音順に単語が並んでいる辞典。「ア」で始まる二文字の単語から、「ー」(長音)で終わる十一文字の言葉まで約四万七千語が収録されている。

解くだけでなく、作問の際にもぜひ。

『平成世相風俗史年表』

1989-2019
世相風俗観察会編 河出書房新社、2019
(請求記号 210.77-Se87)

平成の出来事を一年ごとにまとめた年表。流行語やイベント、カルチャーなどから平成を振り返る。自分が生まれた年はどんな年だったのか、見てみると意外な発見があるかも。

『日本の物語・お話絵本登場人物索引、2007-2015』

DBジャパン編 DBジャパン、2017
(請求記号 909.031-N77-2007/15)

登場人物の名前から作品名が調べられる索引。2007年から2015年の間に国内で刊行された3164作品から、5547人の登場人物が収録されている。懐かしい記憶を思い出す一助になるかも。

便利な電子版も

参考図書は大変便利だが、基本的には行われていない。家にも調べる物がないときは、電子版の資料が役立つ。

筑波大学附属図書館ホームページからデータベースのリンクを開くと、利用可能なデータベースの一覧が分野順に掲載されている。そのうち、事典・辞書の分野に「ジャパンレッジ」のリンクがある。「ジャパンレッジ」は、八十以上の参考図書が検索できる辞書・事典サイトである。筑波大学の構成員は、学外からリモートアクセスで利用することができる。ただし、同時アクセス数は四人までとなっているので注意が必要だ。

授業や研究、気になったことの解決にぜひ活用してみては。

参考資料

国立国会図書館、「参考図書紹介」、リサーチナビ国立国会図書館の調べ方案内、2022年9月7日、<https://rnavi.ndl.go.jp/jp/sonko/index.html>、(参照: 2023-11-28)。
筑波大学附属図書館、「図書館情報学図書館・図書館情報学図書館のフロアマップ・資料配置」、筑波大学附属図書館、<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/lib/jo/access/loc-tojo/>、(参照: 2023-11-28)。
株式会社ネットアドバンス、「ジャンナレッジLib」・JapanKnowledge Lib、<https://japanknowledge.com/library/>、(参照: 2023-12-11)。
協力：図書館情報学図書館様

博物館セミナー

博物館セミナーは博物館に関心のある学生を対象としたセミナーで、今回は 9 月に行われた。博物館について、終日研究員や職員の方々から実例を交えながら教わった。また、私は今回参加しなかったが、資格取得を希望する学生に向けての博物館学講座も同時期に開催された。こちらは博物館セミナーとは異なり有料で、数日間にわたって講座が行われた。

セミナーはキャンパスメンバーズ会員校に向けて開催されるもののため、詳しい講座内容に言及することはできかねるが、特別展や総合文化展についての講義が特に印象に残った。特別展とは、あるテーマを設定した大規模な企画展示である。特に、2022 年に行われた、150 周年を記念した特別展「東京国立博物館のすべて」が大きく印象に残っている。国宝 89 件すべてを展示するという大掛かりな展覧会で、大きな反響を呼んだ。

総合文化展は、購入、移管、寄贈などによって収集した所蔵品と、寺社などから預けられた寄託品から主に構成される。総合文化展は、他の博物館、美術館でいうところの常設展、平常展にあたる。細かい名前一つをとっても、展示品への愛を感じる。この総合文化展では、年間約 300 回もの展示替えをするという。つまり、毎日ほぼどこかの展示室で展示替えを行っている。そのため、来館者は行くときによって見られる作品が異なり、何度行っても新しい発見がある。また、展示替えの意義は来館者の意欲を創出するだけにとどまらない。展示期間を絞ることによって、展示品を守ることにもつながる。文化財は木、紙、布といった脆弱な素材でできたものが多い。展示品を守るためにも、会議をしたり、スケジュールを作成したりと準備が日々目まぐるしく行われている。今まで来館者の立場から考えていたため、展示品の立場からの展示替えの意味は大変勉強になった。

先日「王羲之と蘭亭序」という特集を見るために、東京国立博物館へ足を運んだ。このような特別展でなくとも楽しめる企画があるのも、多くの時間を費やしてくださる博物館の方々のおかげなのだ実感した。

今までは東京国立博物館に限らず、特別展を目当てに博物館や美術館を訪れることが多かった。しかし、総合文化展であっても貴重な展示品ばかりであることを、今回のセミナーで改めて思い知らされた。

最後に

博物館についてもっと知りたいという、単純な気持ちで受講したこのセミナー。特別展に携わる方や国際交流に関わる方など、どの方のお話も博物館への思いであふれた興味深いものばかりで、非常に貴重な体験となった。

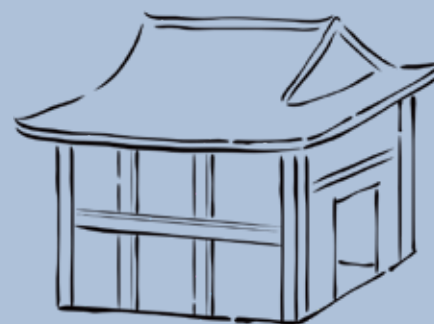
klis 生には、図書館だけでなく博物館に関心のある方も多いはず。キャンパスメンバーズ会員校に在籍する今こそ、貴重な展示品の数々を目の当たりにしていただきたい。この記事を読んだ皆様にも博物館に興味をもっていただけたら幸いである。

参考文献

東京国立博物館 . キャンパスメンバーズ . 東京国立博物館 .
https://www.tnm.jp/modules/r_free_rage/index.php?id=167 (参照 11 月 26 日) .

開館時間・アクセス

東京国立博物館
〒110-8712 東京都台東区上野公園 13-9
9 時 30 分～17 時 (毎週金・土曜日は 19 時まで)
JR 上野駅、鶯谷駅から徒歩 10 分
東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅、千代田線根津駅から徒歩 15 分
京成電鉄京成上野駅から徒歩 15 分



博物館セミナーに 参加しました！

先日参加した博物館セミナーについて、そして、
東京国立博物館について紹介する。(担当:大橋)

参加までの流れ

6 月 掲示板で博物館セミナーの開催を知る
↓
申し込み
↓
7 月 受講可能の連絡が来る
↓
受講証を受け取る
↓
9 月 セミナー当日

時間を見つけては、博物館や美術館に足を運んでいる筆者。ただ鑑賞するだけではなく、作品や施設の運営について詳しく学んでみたいと考えていた。そんな中、大学の Twins 掲示板にて、キャンパスメンバーズ対象の博物館セミナーの情報を知った。

東京国立博物館とは

東京国立博物館の歴史は 1872 年に始まり、昨年創立 150 年を迎えた。収蔵品は約 12 万件にもなる。

展示館は全部で 6 館。正門の正面に位置する本館では日本美術を、平成館では日本の考古を、東洋館では東洋美術、法隆寺宝物間では法隆寺献納宝物を展示している。また、特別展、催し物会場となる表慶館、敷地外に洋画家黒田清輝の作品を展示する黒田記念館がある。今回のセミナーは平成館にて行われた。

キャンパスメンバーズとは

東京国立博物館は、博物館を通じて文化財、日本文化に対する理解の促進を図るために「東京国立博物館キャンパスメンバーズ制度」を設けている。キャンパスメンバーズ会員校に在籍する学生は総合文化展を無料で観覧することができ、筑波大学もこの会員校の一つである。また、会員向けの博物館学に関する講演会「博物館セミナー」や「博物館学講座」が実施されている。今回はこのキャンパスメンバーズ会員校を対象とした博物館セミナーに参加した。

宮沢賢治と○○

ちょうど 90 年前の 1933 年に 37 歳の若さでこの世を去った宮沢賢治。現在では、彼の作品は老若男女に親しまれ、小学校の教科書にも作品が載っている。しかし、生前に刊行された著書は詩集『春と修羅』、童話集『注文の多い料理店』のわずか 2 冊。37 年の短い生涯で作家だけではなく、教師、宗教家など多方面で活躍した宮沢賢治の世界へようこそ！（担当：岸岡）

宮沢賢治と詩

賢治が作った詩は約八百篇ある。
一九二四年には、生前に唯一刊行した詩集である『春と修羅』を自費出版した。賢治は『春と修羅』を心象スケッチと呼んだ。

「雨ニモマケズ」

賢治は、亡くなる約二年前に、病床で手帳にこの詩を書いた。最後の一文は、「サウイフモノニワタシハナリタイ」。賢治が理想の自分を書き表したものと言える。「永訣の朝」

この詩は『春と修羅』に収められており、賢治の最愛の妹であるトシの死に対する思いが綴られている。また、全ての人が幸せであるようにとの祈りも込められている。

宮沢賢治と宗教

賢治は、父親や伯母の影響で、幼いころから仏教の信仰に熱心な家庭で育てられた。二十二歳の時に父親に宛てた手紙の中では、法華経を信仰する決意を述べている。二十四歳の時には、日蓮を信奉した田中智学が創設した宗教団体・国柱会に入信した。

彼の宗教観は、彼の作品にも大きな影響を与えた。

宮沢賢治と岩手

賢治は、現在の岩手県花巻市に生まれた。賢治による造語であるイーハトーヴは、彼が生まれ育った岩手県をモチーフとしたドリームランドを指す言葉で、童話の主な舞台のひとつとなっている。花巻市にも「銀河鉄道の夜」などの作品の題材やモデルになった場所が多く存在する。

花巻市には、宮沢賢治記念館や宮沢賢治童話村など、宮沢賢治の世界に触れられる施設もある。

宮沢賢治と農業

賢治は、盛岡高等農林学校（現・岩手大学農学部）に進んだ。卒業後は種貫農学校（現・花巻農業高等学校）教諭となり、四年四月にわたって教鞭を執った。一九二六年には、自宅兼私塾である羅須地人協会を設立し、肥料相談に乗ったり、農業や芸術の講義を行ったりした。彼の芸術論は『農民芸術概論綱要』にまとめられている。

羅須地人協会の黒板に書かれた「下ノ畑ニ居リマス 賢治」の書き置きは有名なものである。

宮沢賢治の生涯

一八九六年 岩手県で生まれる。
一九〇六年 十歳 鉱物や植物、昆虫採集に熱中。
一九一五年 十九歳 盛岡高等農林学校（現岩手大学農学部）に入学。

一九二〇年 二十四歳 国柱会信行部に入会。

一九二一年 二十五歳 「どんぐりと山猫」、「注文の多い料理店」など多くの童話を創作。

一九二二年 二十六歳 妹トシが二四歳で死去。

一九二四年 二十八歳 『注文の多い料理店』を刊行。

一九二六年 三十歳 岩手国民高等学校で農民芸術論を講義。

一九二七年 三十一歳 花巻温泉南斜花壇を作る。

一九三一年 三十五歳 東北砕石工場技師となる。『雨ニモマケズ』を書く。

一九三三年 三六歳 「グスコープドリの伝記」を発表。

一九三三年 三十七歳 法華経一部を印刷して知人に配布するよう父に遺言し、死去。

宮沢賢治と童話

賢治は生涯の中で、約百篇の童話を生み出した。

賢治と童話の出会い、小学校三年生の時の担任・八木英三が話してくれた童話に影響されたことに始まる。一九二一年一月に上京した際には、多くの童話を書いた。そして一九二四年には、童話集『注文の多い料理店』を出版した。

賢治の作品は、生前にはほとんど評価はされなかった。だが、没後草野心平や高村光太郎らの尽力によって遺稿の出版が相次ぎ、だんだんと知名度を高めた。

童話の特徴① オノマトペ

『どんぐりと山猫』の「本のぶなの木のしたに、たくさん白いきのこが、どつてどつてどつてこつてこつて変な楽隊をやつておました。」や「やまなし」の「クラムボンがかぶかぶ笑つたよ。」など、ユニークで印象的なオノマトペを多用している。

童話の特徴② 自然

賢治の作品の中には、植物や動物など、多くの自然が登場する。「ツエねずみ」、「よだかの星」といった動物が主人公の童話も多い。彼の作品からは、自然への愛や熱い思いが読み取れる。

童話紹介

よだかの星

よだかは、見た目のせいで他の鳥たちから嫌われ、いじめられていた。居場所を失い、夜空を飛び続けるよだかは、自分の体が青く美しい光となり、静かに燃えているのを見た。
「ああ、かぶとむしや、たくさん羽虫が、毎晩僕に殺される。そしてそのただ一つの僕がこんどは鷹に殺される。それがこんなにつらいのだ。」
「そしてよだかの星は燃えつつけました。いつまでもいつまでも燃えつつけました。」

グスコープドリの伝記

イーハトーヴの森で両親と妹ネリと暮らしていたグスコープドリ。しかし、冷害が森を襲い、家族を失ってしまふ。ドリは火山を活性化させて寒波を止めるために、ある決意をする・・・。
科学技術への期待や自己犠牲がテーマの物語である。
「私のようなものは、これからたくさんできます。私よりもっともつとんでもできる人が、私よりもっと立派にもっと美しく、仕事をしたり笑ったりして行くのですから。」

フランドン農学校の豚

フランドン王国では、家畜を殺そうとする者は、その家畜から死亡承諾書を受け取らなければならないという法律が発令された。農学校で飼われている豚が殺されるまでの、人間による豚の扱いや豚の苦悩を書いた物語。
冒頭の原稿は消失している。
命の大切さや食べ物への感謝を感じられる物語だ。

「先頃の死亡承諾書ね、あいつへ今日はどうしても、爪判を押して貰いたい。別に大した事じゃない。押して呉れ。」「いやですいやです。」豚は泣く。

どんぐりと山猫

ある日、一郎のもとに山猫から変なハガキが届いた。「あした、めんどなさいばんしますから、おいでんなさい」。一郎が森へ行くと、どんぐりたちが、誰がいちばん偉いのか、について言い争っていた。一郎は、山猫を悩ませる面倒な裁判を解決できるのか？！
「このなかで、いちばんえらくなくて、ばかりで、めちやくちゃで、てんでなっていないくて、あたまのつぶれたようなやつが、いちばんえらいのだ。」

参考文献

- 花巻市役所. “宮沢賢治について”. 花巻市. https://www.city.hanamaki.iwate.jp/miyazawakenji/about_kenji/index.html, (参照 2023-11-26).
“作家別作品リスト：No.81”. 青空文庫. https://www.aozora.gr.jp/index_pages/person81.html#sakuhin_list_1, (参照 2023-11-26).
花巻商工会議所 賢治・星めぐりの街づくり推進協議会. 賢治 星めぐりの街. <http://www.harnamukiya.com/index.html>, (参照 2023-11-24).
東洋経済新報社. “「宮沢賢治」が生前ほとんど評価されなかった背景”. 東洋経済オンライン. <https://toyokeizai.net/articles/-/638465>, (参照 2023-11-24).
《宮沢賢治没後 90 年㊤》宮澤賢治と法華経信仰”. 中外日報. <https://www.chugainippoh.co.jp/article/ron-kikou/ron/20230908-001.html>, (参照 2023-11-26).

編集部員の展示を紹介！

2年編集部員の展示

私は、「一生大切にしたいと思える本との出会い」をテーマに、今の自分を形作ったり、特に印象に残ったりした本を集めて展示をした。展示した本は、自分の読書生活の原点とも言える幼い頃に読んでいた絵本『こんとあき』や、価値観を変えた小説である『52 ヘルツのクジラたち』など、これからも何度も読み返したい本ばかりだ。

この展示を通して、自分自身を見つめ直すことができた。また、これからも新たな本との出会いを大切にしながら読書を続けていきたいと改めて感じた。(執筆：岸岡)

筆者の展示

私は、「人生を彩る本たち」をテーマに思い入れのある本を集めて展示をした。母から読み聞かせをしてもらうことが楽しかった幼少期から現在に至るまで、常にそばには本があったことを改めて思い知らされた。展示には、『常設展示室』という本の POP を書いて本とともに飾った。アートが好きで手に取り、読了後にはアートも本もより好きになった、私の人生を象徴するような一冊だ。これからも、本とともに歩んでいきたい。

雙峰祭にお越しくださった皆さん、ありがとうございました！
雙峰祭に行くことができなかった方も大丈夫。ホームページでは、年2回発行されているものから研究室紹介号まで、過去の MILK をすべて読むことができます。
次号の MILK もお楽しみに！



MILK 通信



知識情報・図書館学類誌 MILK 編集部近況をお届けします。(担当：大橋)

先日、筑波大学の学園祭「雙峰祭」が開催された。感染症対策の観点から開催が見送られていた雙峰祭。昨年度はようやく実施に至ったものの、チケット制で来場人数が制限されるなど、行きたくても行けなかった方、思うように活動できなかった方も少なくないだろう。そして今年度、ついに数年ぶりに完全な対面形式での雙峰祭が開催された。多くの来場者が訪れ、賑わいを見せた。

われわれ知識情報・図書館学類誌 MILK 編集部も、2 日間にわたり雙峰祭に参戦。体育・芸術エリア内の教室にて、MILK のバックナンバーの配布と企画展示を行った。最新号から創刊当初の貴重なものまで、普段はなかなか見ることのできないバックナンバーが教室にずらりと並んだ様子は圧巻。たくさんの方に手に取っていただき、多めに用意したはずの冊子は、企画終了時にはほとんどがなくなった。企画展示は、編集部員一人ひとりが自分の思い入れのある本などを集めた。そして、展示のテーマやこだわったポイントについてまとめ、本とともに展示した。特に気に入った本は POP を書き、本の内容や自分の思いを書き綴った。また、編集部員が厳選した本とともに、執筆した記事も展示した。どのような背景があつてどのようなことに興味関心を持っているのか、部員同士も知らないことばかりで、お互いを知る良い機会にもなった。



▲企画を行った教室前の看板



▲展示の一部

編集後記



一人旅に出ました。大阪、楽しかったです。
(大橋桃香・2年)



お気に入りのラーメン店です。
麺や 蒼 AOI つけ麺
(田中大陸・3年)



図書館インターンに行きました。
最終日を終えたご褒美。
(小松史乃・3年)



雙峰祭にぎわっていましたね！とても楽しかったです！
(岸岡あや・2年)



23号からお世話になります。これから頑張りますっ！
(伊藤岳・1年)



初めて書きます。小田城跡に行きました。
(吉岡秀人・1年)

Credit

知識情報・図書館学類誌 MILK 第23号
●発行者 鈴木 伸崇(知識情報・図書館学類長)
●発行日 2024年2月9日
●編集長 大橋 桃香
●編集部 大橋 桃香 田中 大陸 小松 史乃 岸岡 あや 伊藤 岳 吉岡 秀人
●協力 吞海 沙織先生 武田 将季先生 松村 敦先生
PBL型図書館サービスプログラム開発 受講生の皆様
つくば市立中央図書館
つくば市教育委員会
小田城

小田城跡のいいところ概説 (担当:吉岡)

ことしの11月。つくばに来る前からずっと行って見たかった小田城跡に行ってみました。
つくば駅から小田シャトルに乗りしておよそ1時間ゆられ、小田東部で下車して歩くこと約5分

小田城をご存じですか？

小田城跡に到着しました→

小田城は筑波山麓にあったお城で、つくば周辺を支配していた小田氏の居城です。
(小田氏は鎌倉殿の13人にも登場した八田知家を祖とし、戦国最弱と呼ばれた小田氏治などがいます)
教科書には登場しないマイナーなお城ですが、実はとてもすごいお城であることが取材を通してわかりました。ここでは小田城の魅力を少しだけですが紹介します。

神皇正統記が執筆された場所！？

神皇正統記といえば言わずと知れた日本史の重要な文書です。
その神皇正統記が小田城で執筆されたとはどういうことでしょうか？

実は、小田城を代々居城とした小田氏は南北朝期の騒乱において後醍醐天皇側である南朝方に与しており、当時の小田家当主であった小田治久は北畠親房を小田城に迎え、親房は小田氏が北朝に降伏するまでのあいだ小田城で南朝の指揮を執りつつ神皇正統記を著したそうです。

時代ごとの領主の拠点に求められる機能がわかる

小田城は鎌倉時代から戦国時代まで存在した名門一族の居城として時代の変化とともにその姿を大きく変化させていることが第五面まである小田城本丸跡の遺構の発掘調査から分かっています。小田城は室町時代途中までは館でしかありませんでしたが、戦国時代には本格的な土塁や堀の構築など城として防衛的性格を高めています。そして末になるにつれて馬出の設置など戦闘機能を高めていく。このような歴史の流れをよりわかりやすく見ることができます。
また調査の出土品の一部の展示から、宴会の痕跡など優雅な暮らしが見て取れ、関東八屋形として鎌倉以来の名門であった事実を改めて噛みしめました。

まとめ

小田城のことをもっと知りたい方にお勧めなのが、併設している小田城跡歴史広場案内所です。こちらの展示室では小田城と小田氏について、小田城跡の遺構を調査して分かった時代ごとの小田城の移り変わりや出土品の展示、初代の八田知家から15代の小田氏治までを絵巻風にまとめて説明するなど小田氏を知らない人でもわかりやすいように工夫されています。
つくば駅からは片道300円で行ける場所なので、歴史にすこしでも興味のある方は筑波大学にいたる間にぜひ一度訪れてみてください。

小田城跡歴史ひろば案内所:茨城県つくば市小田 2532-2
小田城跡遺構復元広場:茨城県つくば市小田 2377
休所日(案内所のみ):毎週月曜日、祝日の翌日、年末年始
電話:029-867-4070



土塁に囲まれた遺構が広がっています



↑空から見るとこんな感じです
(資料協力:つくば市教育委員会)



南西虎口(手前)と南西馬出曲輪(奥)



東池跡
(資料協力:つくば市教育委員会)